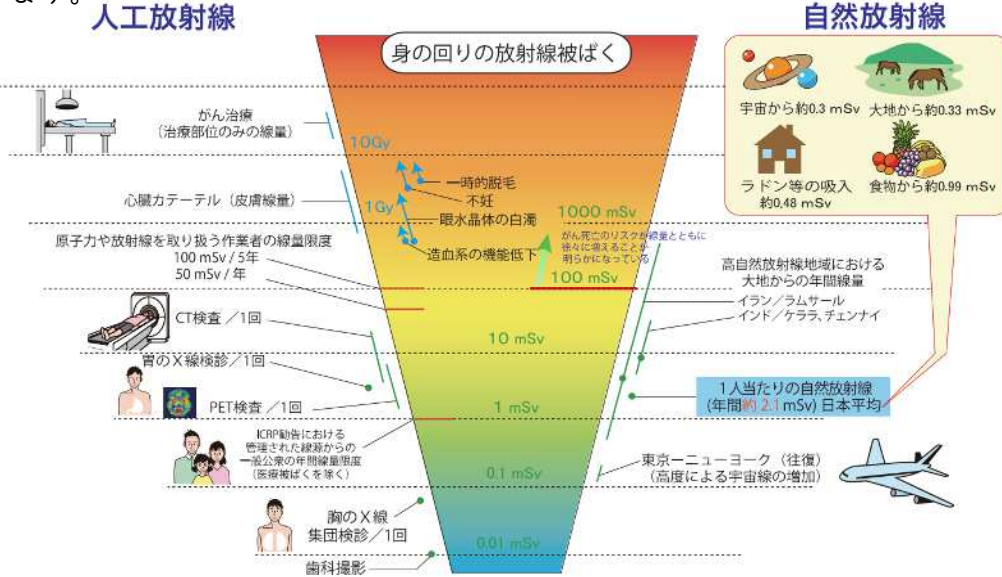


(参考) 身の回りの放射線被ばく

私たちが身の回りから受ける放射線には、「自然放射線」と「人工放射線」があります。

自然放射線は、宇宙や空気、大地、食べ物などから受ける放射線をいい、日本平均では年間2.1mSvの放射線を浴びています。

人工放射線は、胃のX線検診やCT検査、がん治療から受ける放射線をいいます。



出典：国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構「放射線被ばくの早見図」(https://www.qst.go.jp/site/nirs/hoyamizu.html) より改変して引用

例えば、0.1 μSv/時の土地で、1年間過ごしたと仮定すると、年間の放射線量は0.1 × 24時間 × 365日 = 約900 μSv = 約0.9 mSvになります。

実際には、屋内で過ごすことなどにより放射線が遮へいされるため、放射線量はより少なくなります。

※mSv(ミリシーベルト)、μSv(マイクロシーベルト)とは…

Sv(シーベルト)は、放射線が人体に及ぼす影響を含めた線量の単位のことです。

mSvはSvの1,000分の1、μSvはmSvの1,000分の1を意味します。

さらに詳しい情報は、こちらをご覧ください

○ふくしま復興情報ポータルサイト
https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/



○環境省除染情報サイト
http://josen.env.go.jp/



○環境再生プラザ
http://josen.env.go.jp/plaza



○環境省中間貯蔵施設情報サイト
http://josen.env.go.jp/chukanchozou/



発行 福島県 生活環境部 中間貯蔵・除染対策課

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号 (福島県庁 西庁舎10階)
TEL:024-521-7276 FAX:024-521-7984

メールアドレス：
chukanjosen@pref.fukushima.lg.jp

ホームページアドレス：
https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16045d/



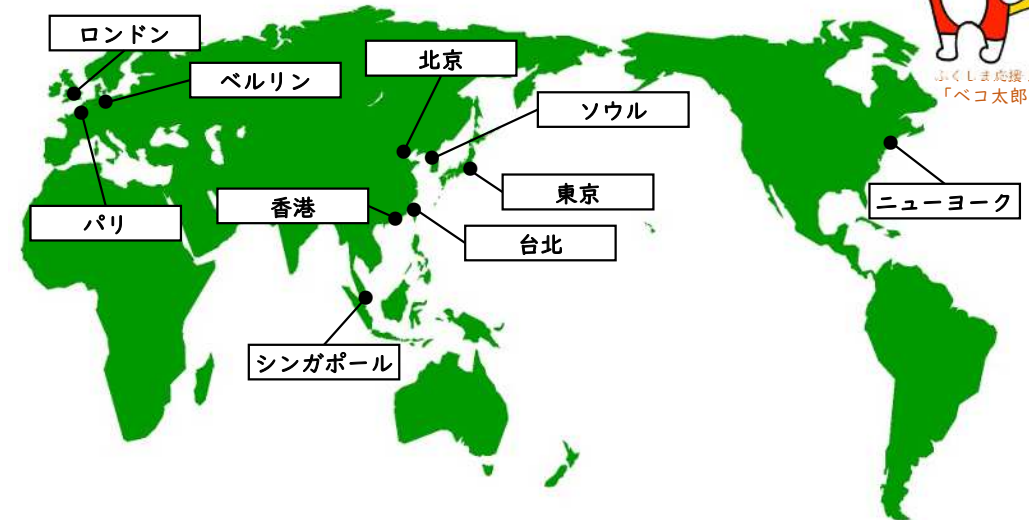
福島県における

環境回復のあゆみ

はてな？

世界10都市の空間線量率(放射線の量)は以下のとおりとなっています。

福島県の空間線量率はどのくらいでしょうか？



都市名	空間線量率 (μSv/時)	都市名	空間線量率 (μSv/時)
東京	0.04 (R7.12.31)	香港	0.15 (R7.12.25)
ソウル	0.13 (R7.12.25)	ニューヨーク	0.06 (R7.12.31)
シンガポール	0.08 (R7.12.25)	ロンドン	0.10 (R7.12.31)
北京	0.07 (R7.12.24)	ベルリン	0.10 (R7.12.31)
台北	0.06 (R7.12.25)	パリ	0.04 (R7.12.31)

出典：環境省主要都市の空間線量率の測定結果

(https://www.env.go.jp/chemi/rhm/current/02-05-07.html) のデータを基に作成

※空間線量率とは…

ある一定の空間で計測される単位時間当たりの放射線の量(強さ)のことです。

令和8年5月
福島県

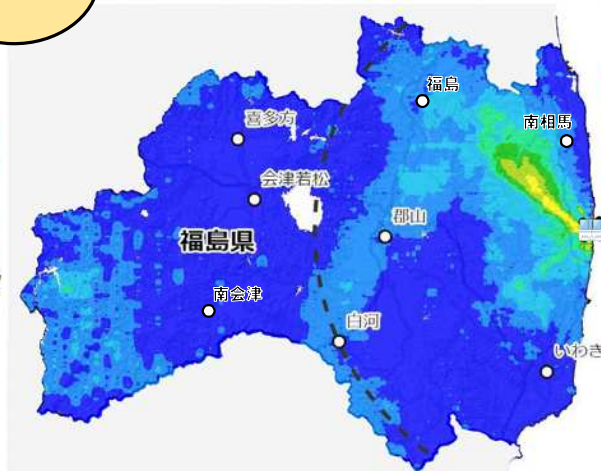


福島県内の空間線量率はどれくらい？

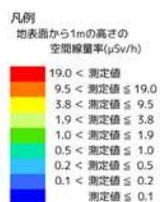
こたえは

福島県内の空間線量率は、現在では世界の主要都市とほぼ同水準です。

平成23年3月に発生した東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所事故により放射性物質が環境中に放出されました。

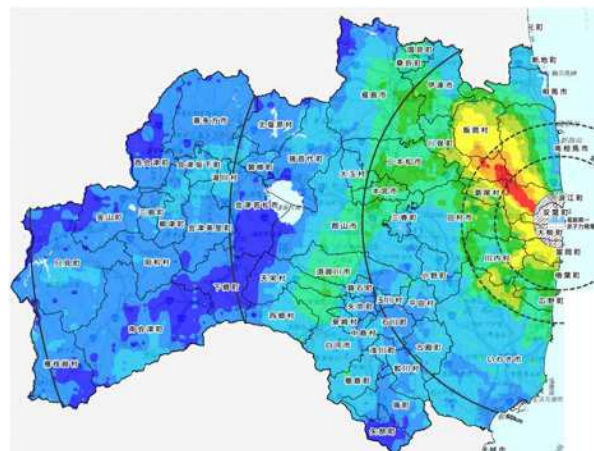


令和7年12月5日現在



出典：
福島県及びその近隣県における航空機モニタリングの結果について
(<https://radioactivity.nra.go.jp/cont/ja/results/airborne/air-dose/福島県及びその近隣県における航空機モニタリングの結果について>)
(令和6年5月8日～12月5日測定) %20令和8年03月04日.pdfより引用

除染の効果や自然減衰などにより低減



平成23年8月28日現在

出典：
文部科学省による福島県西部の航空機モニタリングの測定結果について
(https://radioactivity.nra.go.jp/cont/ja/results/airborne/beyond-80km/1910_0912.pdf)より引用



単位：μSv/時、測定値：令和7年9月平均値

市町村名	空間線量率	市町村名	空間線量率	市町村名	空間線量率
会津若松市	0.05	福島市	0.10	南相馬市	0.05
南会津町	0.04	郡山市	0.06	飯舘村 ¹⁾	0.11
		白河市	0.05	浪江町 ¹⁾	0.10
				富岡町 ¹⁾	0.15
				いわき市	0.06

単位：μSv/時、測定値：平成23年4月平均値（飯舘村、浪江町、富岡町は除く）

市町村名	空間線量率	市町村名	空間線量率	市町村名	空間線量率
会津若松市	0.19	福島市	1.91	南相馬市	0.63
南会津町	0.08	郡山市	1.83	飯舘村 ²⁾	4.00
		白河市	0.67	浪江町 ³⁾	9.38
				富岡町 ³⁾	4.42
				いわき市	0.37

出典：「福島県環境放射線モニタリング広報誌(ふくモニ)」(福島県放射線監視室 R7.3月発行)のデータを基に作成

- 1) 原子力発電所周辺環境放射線測定結果(令和7年度 第3四半期)より、飯舘村伊丹沢、浪江町浪江、富岡町夜の森のデータ (<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/738735.pdf>)
- 2) 福島県環境放射線モニタリング・メッシュ調査(第1回)結果より、飯舘村伊丹沢(2011/4/12)のデータ (https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec_file/monitoring/i-l/mesh-l-iitate.pdf)
- 3) 原子力発電所の環境放射線測定結果 平成23年3月11日～3月31日より、浪江町浪江、富岡町夜の森のデータ (https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec_file/monitoring/etc/post3-20120921.pdf)

除染とは？

放射性物質による健康や生活環境への影響を速やかに低減させるため、汚染された土地や建物など、様々な場所で除染を実施してきました。

住宅



外壁の拭き取りや雨どいの堆積物の除去、庭の表土の削り取りなどを行いました。

森林(生活圏)



住宅などの近くの森林では、落ち葉や落ちた枝などを取り除きました。

農地



田畑では通常より深く耕す「深耕」や上下の土を入れ替える「反転耕」などを行いました。

道路



手作業などで除去できる堆積物を取り除き、それでも効果が得られない場合は、高圧水による洗浄などを行いました。

※ これらの除染は、平成30年3月までに帰還困難区域を除き完了しました。

出典：「環境省 除染アークサイト」より各写真データ

(<https://josen.env.go.jp/archive/category/?decontamination>)

中間貯蔵施設とは？

- 中間貯蔵施設は、除染により発生した除去土壌などについて、最終処分までの間、一時的に、安全かつ集中的に貯蔵する施設です。
- 中間貯蔵施設は大熊町・双葉町にあり、国により設置・管理運営されています。
- 除去土壌などは、中間貯蔵の開始から**30年後となる2045年3月までに、福島県外で最終処分**されることが法律*で定められています。
- これは、大熊町・双葉町と県が中間貯蔵施設の受入れという苦渋の決断を行った際に、その前提として国が約束した国の責務です。
- 現在1,600ha(渋谷区とほぼ同じ)の面積に、約1,430万㎡(東京ドーム約11杯分)が貯蔵されています。
- 県は、中間貯蔵施設が安全に管理・運営されるよう、施設や輸送の状況確認や環境モニタリングを実施しています。

※ 中間貯蔵・環境安全事業株式会社(通称:JESCO法)[第3条第2項]

